

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成27年12月7日

計画の名称	1 にぎわいに満ちた中心核づくりと災害に強く安心して暮らせるまちづくり（防災・安全）			
計画の期間	平成22年度～平成26年度（5年間）	交付対象	綾瀬市	
計画の目標				

本市は市内に鉄道駅が無いため市外の駅に近い外縁部から市街化が進み、市の中央部が空洞化した都市形態となっている。  
 快適な住環境と高い利便性、機能性を備え、新市街地と旧市街地を連絡する幹線道路、地区幹線道路による道路ネットワークが構築された快適で魅力ある中心市街地の再生を目指すと同時に、災害に強いまちづくりの実現に向け、地域の災害に対する現状を明らかにし、市民による自主防災訓練、市民に対する啓発活動等により防災意識の高揚を図り、さらに地域防災リーダーの養成や支援により防災組織の強化を図ります。

計画の成果目標（定量的指標）																																																																					
<ul style="list-style-type: none"> <li>中心核づくり満足度を 68%（H22）から70%（H26）に増加</li> <li>綾瀬中央地区内の居住者数を 6,800人（H22）から8,000人（H26）に増加</li> <li>地域防災リーダーの人数を 54人（H22）から140人（H26）に増加</li> </ul>																																																																					
定量的指標の定義及び算定式																																																																					
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="8">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H22当初)</th> <th>中間目標値 (H24末)</th> <th colspan="3">最終目標値 (H26末)</th> <th colspan="3"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>住民アンケート調査による（中心核づくり満足度）</td> <td>68%</td> <td></td> <td colspan="3">70%</td> <td colspan="3"></td> <td></td> </tr> <tr> <td>建築戸数と平均世帯人数による人口増</td> <td>6,800人</td> <td></td> <td colspan="3">8,000人</td> <td colspan="3"></td> <td></td> </tr> <tr> <td>地域防災リーダーの人数増</td> <td>54人</td> <td></td> <td colspan="3">140人</td> <td colspan="3"></td> <td></td> </tr> <tr> <td>全体事業費</td> <td>合計 (A+B+C)</td> <td>86.2 百万円</td> <td>A</td> <td>69.58 百万円</td> <td>B</td> <td>0.0 百万円</td> <td>C</td> <td>16.62 百万円</td> <td>効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)</td> <td>19.3%</td> </tr> </tbody> </table>												定量的指標の現況値及び目標値								備考	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)						住民アンケート調査による（中心核づくり満足度）	68%		70%							建築戸数と平均世帯人数による人口増	6,800人		8,000人							地域防災リーダーの人数増	54人		140人							全体事業費	合計 (A+B+C)	86.2 百万円	A	69.58 百万円	B	0.0 百万円	C	16.62 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	19.3%
	定量的指標の現況値及び目標値								備考																																																												
	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)																																																																		
住民アンケート調査による（中心核づくり満足度）	68%		70%																																																																		
建築戸数と平均世帯人数による人口増	6,800人		8,000人																																																																		
地域防災リーダーの人数増	54人		140人																																																																		
全体事業費	合計 (A+B+C)	86.2 百万円	A	69.58 百万円	B	0.0 百万円	C	16.62 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	19.3%																																																											

事後評価（中間評価）

事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期		事後評価（中間評価）の実施時期	
事後評価（中間評価）の実施体制		事業終了後	
綾瀬市都市建設部都市政策課で実施		公表の方法	
		綾瀬市公式ホームページ	

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業															
A1 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
1-A-2	防災	一般	綾瀬市	直接	綾瀬市	綾瀬市都市防災総合推進事業	災害危険度判定調査 住民等まちづくり活動支援	綾瀬市						69.58	
合計										69.58					
B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
合計															
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考				
C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
1-C-4		一般	綾瀬市	直接	綾瀬市	広域避難場所誘導標設置	広域避難場所誘導標設置	綾瀬市						8.95	
1-C-5		一般	綾瀬市	直接	綾瀬市	防災対策総合ガイド作成	防災対策総合ガイド作成	綾瀬市						0.88	
1-C-6		一般	綾瀬市	直接	綾瀬市	非常用通信回線の整備	非常用通信回線の整備	綾瀬市						1.29	
1-C-7		一般	綾瀬市	直接	綾瀬市	監視カメラの設置	監視カメラの設置	綾瀬市						5.50	
合計										16.62					
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考				
1-C-4	防災倉庫を設置した避難所を含めた広域避難場所への誘導標をユニバーサルデザインに統一することにより市民にわかりやすい標識とする。														
1-C-5	都市防災危険度判定調査及び地域防災計画見直しに伴い、防災総合ガイドを作成することにより市民の防災意識の向上を図る。														
1-C-6	1次避難所の機能強化を図るために非常用通信回線を設置する。														
1-C-7	1次避難所へ安全に避難させることを目的とし、危険箇所の状況を把握するため監視カメラを設置する。														

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

定量的指標に関連する  
交付対象事業の効果の発現状況

危険度判定調査を行い「防災まちづくり計画」を作成し、市内の都市防災上危険な地域を抽出し、市のホームページで公表する等の周知を行い、市民の防災意識の向上を図った。

特に防災上危険な4地域のうち、大上地域、寺尾地域の2地域に対して、「防災まちづくり活動支援」として、まち歩きやワークショップを実施し、具体的な地域の危険性や、災害時の安全を確保するための資源の確認を行い、発災前の防災意識の向上を図った。

定量的指標の達成状況	指標（住民アンケート調査による（中心核づくり満足度））	最終目標値	70%	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	78%		
	指標（建築戸数と平均世帯人数による人口増）	最終目標値	8,000人	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	8,570人		
	指標（地域防災リーダーの人数増）	最終目標値	140人	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	141人		

定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況  
(必要に応じて記述)

3. 特記事項（今後の方針等）

「防災まちづくり活動支援」を実施した2地域では、今後、自助・共助の視点から、自分の命は自分で、地域の安全は地域で対策できるよう、「アクションプログラム」の作成を行い、自立した継続的な地域の「防災まちづくり活動」に発展させるために、今後も地域住民と行政が協働して地域の安全性の向上を図っていく。

(参考図面) 市街地整備

